

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成28年度第1回西脇市ふるさと経営推進市民会議
開催日時	平成28年12月13日（火） 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階
出席委員の氏名又は人数	8名
欠席委員の氏名又は人数	2名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー1名、事務局8名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 自治基本条例の推進に向けた取組について 2 総合計画の推進状況について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会）</p> <p>（あいさつ） お忙しい中、御出席いただき感謝申し上げます。本日はぜひ忌憚のない御意見をお願いしたい。</p> <p>（事務局の紹介）</p> <p>（自治基本条例に関する事項） 自治基本条例の推進に向けた取組について 会議資料1に基づき、事務局から説明</p> <p>（総合計画に関する事項） 総合計画の推進状況について 会議資料2に基づき、事務局から説明（1～33ページ）</p>
事務局	
西脇市長	
事務局	
事務局	

<p>委 員</p>	<p>資料 30 ページの「NPO法人の設立数」について、市内のNPO法人の具体例を教えてください。また、32 ページのクラウドファンディングについて、詳しい説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>NPO法人については、インターネットで自治体別に検索できるようになっている。北はりま田園空間博物館や、日時計の丘公園を運営していただいているのもNPO法人である。</p> <p>クラウドファンディングとは、新規事業の立上げなどを実現するために、インターネットを通じて不特定多数の人から出資を募る仕組みのことである。市内で飲食業を営む方や、農家の方に申請をいただいている。今後、ホームページで出資していただける方を募集する予定である。</p>
<p>委 員</p>	<p>地域自治協議会が市内全域で設立されるまでに、何年ほどかかると考えておられるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域自治協議会の設立については、地域が主体となって取り組んでいただきたいと考えている。そのため、設立までの期限は特に設けていない。先進自治体の事例など、設立のために必要な情報の提供は随時させていただいている。</p>
<p>委 員</p>	<p>野村地区など、人口の多い地区はどうしても住民一人ひとりの意識に差があり、まとまりがあまり感じられない。</p> <p>現行の8地区での設立に必ずしもこだわらなくてもよいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域自治協議会については、自治基本条例においても「一定のまとまりのある地域内において」設立することができることとしている。また、各地区において地区まちづくり計画を策定していただいております、各地区がこの計画に基づいて課題の解決に向けて取り組んでいただいているところである。</p> <p>そのため、現行の8地区での設立を目指していきたいと考えている。</p>

委員	<p>地域自治協議会の認定方法について、全国的には届出制か認定制か、どちらが主流なのか。</p>
事務局	<p>本市が参考にしている先進自治体の事例を見ると、届出制と認定制のどちらが多いとは言えない状況である。まちづくり審議会の答申のとおり届出制を取り入れ、地区の自主性を重視したいと考えている。</p>
委員	<p>届出制は理想的な形であると思うが、地域ごとの実情も踏まえながら柔軟に対応していただければと思う。</p>
事務局	<p>会議資料2に基づき、事務局から説明（34～58ページ）</p>
委員	<p>43 ページの「健全な財政運営の推進」について、行政は小さな努力を積み重ねておられると思う。例えば、市からの郵便物はひとつの封筒にまとめられて届くようになった。ぜひこのような取組を継続してほしい。</p> <p>次に、52 ページに未利用の土地の売却等について書かれているが、地域で活用する方法はないか検討している。</p> <p>また、57 ページの「窓口サービスの向上」について、「窓口のワンストップ化」とはどのようなことを目指しているのかお伺いしたい。</p> <p>窓口対応に関するまちづくり指標は望ましくない方向に推移しているが、過去に比べると職員の窓口対応は数段良くなっていると感じる。ただ、高齢の来庁者も多いので、ゆっくりと話すことを心がけていただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>郵送コストの削減については、担当課を中心に今後も継続して取り組んでいく。未利用の土地の中で有効に活用できるものについては、活用方法を検討したい。その上で、できるだけ売却の方向で進めたいと考えている。今後も広報等に情報を掲載し、買い手を募集する予定である。</p> <p>また、現在の市庁舎は、窓口が複数の建物に分かれていることなどから、利便性が課題となっている。新庁舎においては、利便性を念頭に窓口の配置を検討していきたい。</p>
委員	<p>46 ページの「健全な財政運営の推進」について、市が健全な財政運営に向けて頑張っておられることに感謝している。今後も、次の世代の子どもたちに負担をかけないよ</p>

事務局	<p>うな財政運営をお願いしたい。</p> <p>財政運営については、今のところ健全な指標を維持できている。ただし、今後人口減少によって歳入が低下していく中で、これまでと同じ規模の事業を維持していくことは困難である。今後はこれまで以上に「選択と集中」を徹底し、既存事業の見直しを行っていかねばならないと考えている。</p>
委員	<p>57 ページの「窓口サービスの向上」について、「住民票などの証明書類をコミセンで受け取れるようにしてほしい」という意見をコミセンの利用者から聞いたことがある。市役所に行かなくても証明書類を受け取れるサービスがあれば良いと思う。</p>
事務局	<p>市内各地で証明書類の交付が受けられるよう、コンビニ交付サービスの導入を検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>社会福祉課の窓口到手話通訳者が配置されたことについて、聴覚障害のある方は「自分たちも市民の一員として認めてもらえた」と喜んでおられる。新庁舎の整備に当たっては、聴覚障害のある方にとっても利用しやすい窓口になるよう、検討していただきたい。鳥取県では、窓口タブレット端末を設置し、遠隔で手話通訳を行うシステムを導入している。参考にしてほしい。</p> <p>また、公共施設の有効活用について、統廃合により使用しなくなる幼稚園はどのように活用していくのかをお伺いしたい。</p>
事務局	<p>活用方法については未定である。活用の目途が立たない場合は処分することとなる。</p>
委員	<p>高齢者にとって交通の便が悪く、特に病院に通いにくいという声をよく聞く。高齢者にやさしいまちを目指すことで、誰にとってもやさしいまちになるのではないかと感じている。</p>
委員	<p>みらいえで学生ボランティアとして活動させていただいている。市内の大学生が中心となって積極的に活動してほ</p>

委員	<p>しいが、なかなか手を挙げる人がいないのが現状である。 また、フェイスブックの活用について、若者を中心に「いいね！」の数を増やす取組があればいいなと思う。</p> <p>市の公式フェイスブックについて、告知の記事が少なく、行事等の事後報告が中心となっているように思う。もっと告知の記事を増やせば、行事等の参加者が増えるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>公式フェイスブックの趣旨は、西脇市のファンづくりである。告知の記事を毎回の行事ごとに掲載すると、記事の数が増えすぎて見てもらえなくなる恐れがあると考えている。</p>
委員	<p>まちづくり市民アンケートの回答率について、昨年度はもう少し回答率が良かったように記憶している。また、年齢別に見ると、20～30代の回答率が極端に少ない。これらの数値について、どのように分析されているかをお伺いしたい。</p>
事務局	<p>今年度はアンケート項目を増やしており、そのことが回答率に影響した可能性がある。ただ、他市の同様のアンケートの回答率を見ると、いずれも4割程度となっていることから、他市と比べると悪くない回答率であると考えている。</p> <p>20～30代の回答率の低さは、今後の重要な課題であると考えている。次の総合計画においては、より若年層の意見を取り入れるため、アンケートの方法や内容などを再検討したい。</p>
事務局	<p>(事務連絡)</p> <p>○「将来の西脇のイメージ」については、次回会議の議題とする。</p> <p>○次回日程について</p> <p>(閉会)</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>